

第3章

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

3-1

総合戦略の策定にあたって

(1) これまでの地方創生に関する取組

本市では、人口減少社会を見据え、将来にわたり活力あふれる持続可能なまちの創造に向け、「オーガニックなまちづくり」のステップアップを着実に図るため、令和2(2020)年3月に「第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第2期総合戦略」という。)を策定し、地域一体となって取組を推進してきました。

「まち」の分野においては、自立した地域づくりを図るため、地区まちづくり協議会や自主防災組織の設立・運営に向けた財政的・人的支援を実施し、それぞれの活動も活発化しています。

また、街なか居住マンションへの建設補助・取得助成や市の魅力を伝える情報発信による移住・定住の促進、都市住民の農業体験を通じた交流促進、高速バスの乗入路線の追加等による交通利便性の向上など、地理的優位性や地域資源を活かした取組を推進したほか、観光面では、観光地域づくり法人「きさらづDMO」と連携を図り、PR活動や観光資源の磨き上げと掘り起こしを行い、観光客の誘致に取り組みました。

「ひと」の分野においては、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりのために、結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行えるよう、子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」を拠点とした支援や産前産後・家事育児サポート事業を開始しました。また、民間活力の活用による保育士の確保等に取り組み、待機児童が大幅に減少するなど、働きながら産み育てやすい環境づくりを進めました。

「しごと」の分野においては、電子地域通貨「アクアコイン」の普及促進による地域経済の活性化に向けた取組や産業・創業支援センター「らづーBiz」を拠点とした地元中小企業・小規模事業者への伴走型の支援を行いました。新規創業件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり低迷していましたが、「らづーBiz」主催の木更津創業塾の令和3年度の参加者数は過去最高となり創業をめざす方からの需要は依然として高い状況にあります。また、企業の立地を促進し、雇用機会の創出を図りました。さらに、農林水産物のブランド化への支援や、地産地消の促進、食育の推進に取り組みました。

(2) 策定趣旨

地方創生に向けては、市民に「住み続けたい」と感じていただけるよう、安心感や幸福感にあふれ、健康で健全かつ美しい暮らしを享受できるウェルネス社会の実現を目指し、暮らしをより楽しめる魅力あるまちづくりを進めることで、基本構想の目標で掲げる人口に近づけ、将来にわたりまちの活力を維持する必要があります。

このため、引き続き、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整え、きめ細やかな質の高い教育により児童・生徒を育むなど、未来を拓く子ども・若者の健やかな成長を支援する施策を推進することが重要です。

また、まちの利便性をさらに高め、災害に強いまちづくりや環境負荷低減に向けた取組を推進し、豊かな自然環境と共存するまちの魅力の向上に取り組む必要があります。

このようななか、令和4年度をもって「第2期総合戦略」の計画期間が満了することから、国、県の動向や本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、「第3次基本計画」及び実施計画との整合を図りながら、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間を計画期間とする「第3期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第3期総合戦略」という。)を策定し、地方創生のさらなる深化、加速化を図ります。

（３）策定にあたっての視点

（３）－１ 基本計画との一体化

「第3期総合戦略」は、「第3次基本計画」に位置付ける各施策の中から、地方創生の推進、目標達成に向けた戦略的な取組として位置づけ、策定するものです。

また、総合戦略が基本計画の施策を分野横断的に抽出したものであること、令和4年度が「第3次基本計画」の策定年度でもあることから、基本計画と総合戦略に一体的に取り組みます。

（３）－２ 地域特性や地域資源を活かした地方版総合戦略

国及び県の総合戦略との整合を図りながら、東京都心部や空港への近接性、豊かな自然や里海・里山と共生し多様なライフスタイルを実現できる地域特性や地域資源を活かした独自の地方版総合戦略とします。

（３）－３ 国の重点施策の取り入れ

まち・ひと・しごと創生基本方針2021で国が示した「ヒューマン」、「デジタル」、「グリーン」という新たな3つの視点を取り入れ、地方創生の取組のさらなる深化、加速化を図ります。また、「第2期総合戦略」に引き続き、本市独自の地方創生に向けた取組「オーガニックなまちづくり」を推進するとともに、環境の持続性を大前提に社会・経済の持続可能な発展を進めるSDGsのさらなる達成に貢献します。

（３）－４ 新型コロナウイルス感染症による変化

新型コロナウイルス感染症は、世界規模で大流行し、市民生活や地域経済に多大なる影響を与えています。地域の経済・社会を活性化させ、将来にわたりまちの活力を維持するために、これまでの地方創生の取組を着実に行うことに加え、感染症を契機とする意識・行動変容を踏まえたひと・しごとの流れの創出を図るとともに、本市の特色を活かした多様な主体の自主的・主体的な取組を促進します。

(4) 総合戦略の進行管理にあたって

「第3期総合戦略」の推進にあたっては、市民をはじめ、関係団体や民間事業者の参画が重要であり、産業界・国県等の関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアの、いわゆる「産官学金労言」が協力し、地域一体となった取組を進めていきます。

また、毎年度終了後、「PDCAサイクル」に基づく進行管理を実施し、施策等成果の客観的検証や、検証結果を踏まえた見直しを行うことで、戦略の実効性を高め、効率的に推進します。

(5) 「第3期総合戦略」の基本目標と基本的方向

国や県の総合戦略で定める基本目標を踏まえ、「第2期総合戦略」で根付いた取組の継続性を重視して4つの基本目標と基本的方向を定め、地域課題の解決に向け、積極的に推進します。

なお、各基本目標において設定する数値目標は、「第2期総合戦略」の数値目標からの継続性を踏まえて設定し、重要業績評価指標(KPI)については、「第3次基本計画」との関連が高い施策の指標を用いて設定します。

基本目標1	地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む
基本目標2	多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる
基本目標3	自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした 定住・交流を促進する
基本目標4	市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する

3-2

まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画の見方

【基本目標】

総合戦略では、4つの基本目標を設定しています。

基本目標 1

**地域一体となって、
未来を担う「木更津っ子」を育む**

基本的 方向

活力あふれる持続可能な未来の担い手の創造に向けて、結婚・妊娠・出産から子育てにわたる切れ目のない支援を行い、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。

また、本市の特色ある教育環境や地域資源を活かし、地域一体となって郷土愛あふれる「木更津っ子」を育みます。

【基本的方向】

基本目標ごとに、基本的方向等を位置付けています。

■具体的施策(基本計画)

基本的方向	主な施策【基本計画】	主な取組【基本計画】
(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	0 1 保健の充実	①健康づくりの推進
	1 1 子育て支援の充実	①妊娠・出産・子育て期への切れ目のない支援 ②保育・幼児教育の充実
(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり	2 3 商工業の振興	①中小企業の支援と創業の促進
	2 4 勤労者支援の充実	①就業支援の充実 ②働きやすい就労環境づくり
(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実	1 2 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の整備 ⑤開かれた学校づくりの推進
	1 3 青少年の健全育成	①青少年を育てる地域の教育力の向上 ②青少年育成事業の推進

【主な施策・主な取組】

基本的方向ごとに、基本計画から選定し、関連づけています。
この場合は、基本計画の施策1「子育て支援の充実」を「主な施策」に、取組1と取組2を「主な取組」として位置付けています。

【数値目標】

基本目標にどの程度近づいているのか、客観的に確認するために数値目標を設定しています。

■数値目標

指 標	現状値	目標値 (令和8年度)
出生数	948 人 (令和3年度)	1,163 人
幼年期（0歳～4歳）の 人口社会増	98 人 (令和3年度)	230 人

【重要業績評価指標(KPI)】

基本的方向の進捗を図るため、重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
この地域で子育てをしたいと思う 人の割合	93.60%	増加
保育園の待機児童数	6 人	0 人
学校評価木更津システム 「学校満足度」	小 87.0% 中 88.2%	90.0%
コミュニティ・スクール導入件数	2 校	30 校
新しい交流の場（オンライン）に 参加する若者の数	0 人	30 人

基本目標

1

地域一体となって、 未来を担う「木更津っ子」を育む

基本的 方向

活力あふれる持続可能な未来の担い手の創造に向けて、結婚・妊娠・出産から子育てにわたる切れ目のない支援を行い、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。

また、本市の特色ある教育環境や地域資源を活かし、地域一体となって郷土愛あふれる「木更津っ子」を育みます。

■具体的施策(基本計画)

基本的方向	主な施策【基本計画】	主な取組【基本計画】
(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	01 保健の充実	①健康づくりの推進
	11 子育て支援の充実	①妊娠・出産・子育て期への切れ目のない支援 ②保育・幼児教育の充実
(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり	23 商工業の振興	①中小企業の支援と創業の促進
	24 勤労者支援の充実	①就業支援の充実 ②働きやすい就労環境づくり
(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実	12 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の整備 ⑤開かれた学校づくりの推進
	13 青少年の健全育成	①青少年を育てる地域の教育力の向上 ②青少年育成事業の推進

■数値目標

指 標	現状値	目標値 (令和8年度)
出生数	948 人 (令和3年度)	1,163 人
幼年期（0歳～4歳）の 人口社会増	98 人 (令和3年度)	230 人

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
この地域で子育てをしたいと思う 人の割合	93.60%	増加
保育園の待機児童数	6 人	0 人
学校評価木更津システム 「学校満足度」	小 87.0% 中 88.2%	90.0%
コミュニティ・スクール導入件数	2 校	30 校
新しい交流の場（オンライン）に 参加する若者の数	0 人	30 人
放課後子ども教室の開設数	6 か所	8 か所

基本目標

2

多様な地域資源の循環によって、 地域経済を活性化させる

基本的 方向

活力あふれる持続可能な地域経済の活性化に向けて、地産地消等を通じた地域内循環や有機野菜などの高付加価値な農産物の生産促進に取り組みます。

また、観光地域づくり法人(きさらづDMO)と連携し、本市の魅力に磨きをかけ、さらには「新しい日常」の視点を取り入れた人を呼び込む観光コンテンツの充実を図ります。

さらに、産業・創業支援センター「らづ-Biz」を拠点とした事業者への包括的な支援を行うとともに、電子地域通貨「アクアコイン」のさらなる普及促進や企業誘致の推進などにより、産業の活性化を図り、地域経済の循環を高め、地域の「稼ぐ力」を引き出し、安定した雇用を創出します。

■具体的施策(基本計画)

基本的方向	主な施策【基本計画】	主な取組【基本計画】
(1) 農林水産業の成長産業化への支援	2 0 農業の振興	①農村環境の整備 ②地域農業経営体の育成 ③高品質高付加価値農産物の生産拡大 ⑤有機農業の推進
	2 2 水産業の振興	①漁業振興の推進 ③観光漁業の推進
(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援	2 3 商工業の振興	①中小企業の支援と創業の促進 ②商業の活性化 ③工業の活性化
	2 4 勤労者支援の充実	③働きやすい就労環境づくり
(3) 企業誘致の促進	1 9 企業誘致の推進	①企業誘致の推進 ②かずさアカデミアパークを拠点とした新産業等の創出
(4) 観光産業の競争力強化	2 5 観光の振興	①観光誘客の推進 ②観光地域づくりの推進
	2 6 広域交流の推進	②みなとまち木更津の再生 ④道の駅「木更津うまいたの里」の活用
(5) 安定した雇用の確保	2 4 勤労者支援の充実	①就業支援の充実

■数値目標

指 標	現状値	目標値 (令和8年度)
「らづーBiz」の支援を受けた創業件数【累計】 (平成27年度～令和3年度)	57 件	100 件
労働力人口 (※指標確認中)	64,664 人 (令和2年)	64,800 人

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
道の駅「木更津うまいたの里」 来場者数	40 万人	60 万人
潮干狩り入場者数	約 9.7 万人	20 万人
アサリの年間生産量	140 トン	315 トン
学校給食における有機米の 提供割合	38.20%	100%
電子地域通貨「アクアコイン」の 月間利用額（年度月平均）	26,340 千円	50,000 千円
就業支援を受けて、 就業した者の割合	—	40%

基本目標

3

自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する

基本的 方向

本市は、東京湾アクアラインによる東京都心部や空港への近接性等に優れ、交通機能や商業・教育・文化等の都市機能がバランス良く展開する一方、豊かな里海・里山などの自然環境にも恵まれています。

この地理的優位性や地域資源等を活かし、多様なライフスタイルが実現できるまちとして市内外の方々の交流の機会を充実させ、多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図り、移住・定住の促進につなげていきます。

■具体的施策(基本計画)

基本的方向	主な施策【基本計画】	主な取組【基本計画】
(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の促進	2 9 市街地整備の充実	①市街地の整備
	3 1 住環境の整備	①住環境の向上
	4 3 移住・定住の推進	①移住・定住相談窓口の充実 ②移住・定住情報発信の強化
(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成	2 6 広域交流の推進	②みなとまち木更津の再生
	2 8 土地利用の適正化	①計画的土地利用の実現
	3 0 公園・緑地の充実	①公園の整備と緑地の充実
	3 3 交通体系の充実	①道路網の整備 ②交通輸送の充実
(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化	4 2 魅力発信力の強化	①木更津の魅力発信
	4 4 オーガニックなまちづくりの推進	①オーガニックなまちづくりの普及啓発
(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出	2 5 観光の振興	①観光誘客の推進 ③国際会議等のM I C E 誘致
	2 6 広域交流の推進	①東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進 ③木更津金田バスターミナルの利便性向上
	2 7 国際交流の推進	①国際交流活動・多文化共生の推進
(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出	2 0 農業の振興	④都市と農村の交流促進
	2 5 観光の振興	①観光誘客の推進
	2 6 広域交流の推進	④道の駅「うまきたの里」の活用

■数値目標

指 標	現状値	目標値 (令和8年度)
人口の社会増	721 人 (令和3年度)	1,050 人
年間観光客入込客数 (大規模集客施設を除く)	1,022 千人 (令和3年度)	1,594 千人 (令和6年)

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
年間観光客入込客数	1,457 万人	2,233 万人
休日歩行者通行量	13,512 人	14,010 人
空家バンクを通じた 空家の利活用(成約)数	12 戸	20 戸
木更津金田バスターミナルの 高速バス乗入れ路線数	136,586 便	165,000 便
「オーガニックなまちづくり」の 認知度	58%	80%
本市独自のアプリケーション ダウンロード数	23,304 件	30,000 件
道の駅「木更津うまいたの里」 来場者数	40 万人	60 万人

基本的
方向市民力・地域力を高め、
持続可能な自立するまちを構築する

持続可能な自立するまち木更津の創造に向けて、市民力・地域力を活かしたまちづくりへの支援の充実やみなとまち木更津の再生、コンパクトなまちづくりの推進、交通ネットワークの維持・強化等を図ります。また、マイナンバーカードやICTの利活用により、市民サービスの向上を図ります。

さらに、災害に強いまちづくりや支え合う地域社会の構築に取り組むとともに、誇りあるふるさと木更津の豊かな自然環境を守り育み、市民が生涯にわたって活躍し、心身ともに健康で生き生きと暮らすことができる地域づくりを推進します。

■具体的施策(基本計画)

基本的方向	主な施策【基本計画】	主な取組【基本計画】
(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり	3 3 交通体系の充実	②交通輸送の充実
	4 1 市民参加の推進	①市民参加の拡大
	4 4 協働によるまちづくりの推進	①地域自治の推進 ②市民活動に対する支援の充実
(2) 生物多様性を育む自然との共生	2 1 林業の振興	②ひとと森林の共生
	3 9 地球温暖化対策	①地球温暖化対策の推進
	4 0 環境の保全	②環境保全活動の推進 ③環境美化対策の推進
(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	0 1 保健の充実	①健康づくりの推進 ③生活習慣病の発症・重症化予防
	1 4 社会教育の充実	②生涯学習・社会教育活動の充実 ④公民館活動の充実
	1 5 スポーツ・レクリエーションの振興	①スポーツ・レクリエーション活動の推進
(4) ふるさと木更津づくり	1 6 市民文化の充実	①文化芸術活動の推進 ②ふるさと文化の継承
(5) 安心で暮らしやすい防災都市づくり	0 6 災害に強いまちづくりの推進	①防災対策の強化 ③防災意識の向上
(6) 多様な主体との連携推進	4 4 オーガニックなまちづくりの推進	②公民連携によるまちづくりの推進
	4 7 広域連携の推進	①広域連携の推進による効率的な事務処理の推進 ②広域連携の推進
(7) DX推進による住みよいまちづくり	4 8 DX推進に向けたICT活用	①地域のイノベーションの実現によるまちの活性化 ②行政のイノベーションによる業務効率化の推進

■数値目標

指 標	現状値	目標値 (令和8年度)
木更津市に愛着や誇りを 感じている人の割合	39.4% (令和3年度末時点)	60%
災害対策コーディネーター 受講者数	231 人 (令和3年度末時点)	450 人

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)
市民活動支援センター「きさらづ みらいラボ」登録団体数【累計】	116 団体	170 団体
地区まちづくり協議会同士の 交流会参加地区数	0 地区	15 地区
温室効果ガス総排出量	10,587(t-CO₂)	3,813(t-CO₂) (令和12年)
エネルギーの自家消費件数	430 件	R4計画策定中
特定健康診査受診率	43.8%	47%
市内スポーツ・レクリエーション 施設の利用者数	197,589 人	275,000 人
郷土博物館金のすず入館者数	5,212 人	12,000 人
コンサート・アートイベント参加者数	525 人	1,500 人
出前講座の参加人数	188 人	280 人
公開オープンデータダウン ロード数 (LinkData 内)	601 件	1,100 件

第3期総合戦略と第3次基本計画との関係

基本目標		基本的方向	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
			保健の充実	医療の充実	地域福祉の推進	高齢者支援の充実	障がい者支援の充実	災害に強いまちづくりの推進	消防・救急救助体制の充実	防犯体制の充実	交通安全対策の充実	消費者支援の充実	子育て支援の充実	学校教育の充実	青少年の健全育成	社会教育の充実	スポーツ・レクリエーションの振興	市民文化の充実	人権擁護の推進
1	地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む	(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援	●										●						
		(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり																	
		(3) 「木更津っ子」を育む教育の充実												●	●				
2	多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる	(1) 農林水産業の成長産業化への支援																	
		(2) 産業・創業及び地域産業の持続的成長に対する支援																	
		(3) 企業誘致の促進																	
		(4) 観光産業の競争力強化																	
		(5) 安定した雇用の確保																	
3	自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する	(1) 多様なライフスタイルがかなう定住の促進																	
		(2) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成																	
		(3) 木更津の様々な魅力の情報発信の強化																	
		(4) アクアライン等を活かした交流人口の創出																	
		(5) 多様な地域資源を活かした関係人口の創出																	
4	市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する	(1) 市民力・地域力による自立した地域づくり																	
		(2) 生物多様性を育む自然との共生																	
		(3) 生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域づくり	●													●	●		
		(4) ふるさと木更津づくり																●	
		(5) 安心で暮らしやすい防災都市づくり						●											
		(6) 多様な主体との連携推進																	
		(7) DX推進による住みよいまちづくり																	

[illegible]